

伊那谷の老子 加島祥造 文人画展

2013.9.25(水) ～ 10.20(日)

11:00 ～ 18:00

(毎週月曜日は休廊、最終日は 15:00 まで)



加島祥造(かじま・しょうぞう)



詩人、墨彩画家。1923年東京生まれ。早稲田大学英文科卒業。信州大学、横浜国大でアメリカ文学を教える。「荒地派」詩人。50代より書画を始め、現在は伊那谷に住み、老子の哲理をもとに自ら詩を賛に書き込んだ墨彩画を描き、現代の文人画を目指す。これまでに個展60回以上を数える。

詩集「帰谷」(木犀堂)「離思」(思潮社)、画文集「大きな谷の歌」(里文出版)「心よ、ここに来ないか」(日貿出版社)、著書に「タオ老子」「私のタオ」(筑摩書房)、「老子までの道」(朝日文庫)、「老子と暮らす」(光文社)、「ひとり」(淡交社)、「求めない」と「受け入れる」(小学館)はタオイズム思想詩集。